

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者のBPSDに対する分析方法を、さらに検討し、ケアに生かす必要がある。	カンファレンスと総合記録をベースとし、「ひもときシート」や「ロジカルシンキング」、「認知症ケアマッピング」等実施しながら、安心できる生活環境を提供する。	①多職種カンファレンスの継続 ②年間研修計画に、認知症ケアの手法を学べる研修を立案、実施する。 ③外部研修へ参加できるように、様々な研修情報を掲示し職員へ周知する。	12ヶ月
2	2	地域活動として、おりがえカフェ(オレンジカフェ)開催や清掃活動、地域防災訓練などに参加しているが、更に地域の方々との連携を図ることが必要である。	現状の活動の継続及び、認知症サポーター養成講座の開催、他事業所のオレンジカフェとの交流を図る。	①おりがえカフェ開催後、その都度振り返りを行い、民生委員主導で実施できるように、支援する。 ②地域キャラバンメイトと定期的に相談し、ニーズがある場所でサポーター養成講座を実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。